

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	学習技法	
科目基礎情報					
開設学科	環境・バイオ科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義と演習
教科書/教材	品質管理の演習問題と解答 QC検定試験4級対応 QC検定 4級用テキスト（日本規格協会）				
担当教員情報					
担当教員	片山 圭子	実務経験の有無・職種	有・MR（臨床検査薬）		
学習目的					
<p>製造業に限らず、様々な分野に応用が可能な品質管理手法についての検定試験である品質管理検定（QC検定）の入門レベルである4級の取得を目指す。PDCAサイクルなどの社会人としての基本的な考え方からQC7つ道具のような統計手法までを学び、社会人としてのビジネススキルも身に付けてもらう。資格取得を目指す試験勉強を通して「勉強のやり方」を身に付けて、以後の学習をスムーズに行えるようになる。</p>					
到達目標					
<p>試験勉強・資格取得の勉強を行うための方法を身に付け、品質管理検定4級に合格することが最終的な目標である。そのために試験日から逆算して学習計画を立て、継続的に学習を持続させることができるようになり、他の試験においても自分で同様に学習ができるようになることを目標とする。</p>					
教育方法等					
授業概要	日本規格協会発行の4級テキストについて、読み方を教え、内容について解説する。その後、市販の問題集によって模擬試験形式の演習を行い、個々の問題について解説を行う。試験日直前には直前演習を実施する。				
注意点	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーと能動的な学習姿勢で授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	試験を実施する		
	小テスト				
	レポート				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
	その他	10%	品質管理検定4級の合否を考慮する		
授業計画（1回～8回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	品質管理の基礎	品質、品質管理、品質至上、管理活動と維持活動とは何かなどを理解できる			
2回	品質管理の進め方	PDCAサイクルと改善活動、SDCAサイクルと維持活動などの仕事の進め方について理解できる			
3回	品質管理の手法	重点志向の考え方や標準がどのようなものか、また標準の品質管理手法における役割がわかる			
4回	品質管理活動に関する基本知識	工程の意味を理解し、簡単な統計手法やQC七つ道具が利用できるようになる			
5回	より良い製品づくりのための心構えと行動	ほうれんそう、三現主義、5ゲン主義、5Sなどの考え方が理解でき、5W1Hに則った報告ができる			
6回	総合演習1	模擬試験形式の問題を解く（1回目） 合格レベルを目指す			
7回	総合演習2	模擬試験形式の問題を解く（2回目） 合格レベルを目指す			
8回	総合演習3	模擬試験形式の問題を解く（3回目） 合格レベルを目指す			